



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 56 号
2016年7月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



撮影者；小林 清峻
撮影日；平成 27 年 7 月 26 日
カメラ；NIKON D300S
シャッター速度；1/125 絞り；f11
焦点距離；65mm
場所；日立港（第 2 埠頭入口周辺）
撮影余話；この日のデジカメクラブ撮影会は日立港まつりの花火大会がテーマであった。岸壁近くでカメラを準備し、打上げを待っていると、出店が並ぶ通りの方から賑やかなお囃子が聞こえてきた。浴衣姿が入り混じる人通りの多いなか、お神酒を上げたのでしょうか、威勢の良い掛声とともに夕日をあびて神輿が繰出して来るのが見え、思わずシャッターを切りました。

第 114 回 茨城支部総会

- 日時：平成28年5月27日（金）11：10～14：30
- 場所：ホテル天地閣（日立市）
- 出席者：109名（含招待者2名）
- 総会：白井副支部長の司会で、以下の通り盛会の中に進められた。
 - 物故者への黙祷：残念ですが昨年度 34 名の方が亡くなられ、黙祷を捧げてご冥福をお祈りした。
 - 支部長挨拶：久野支部長より、少子高齢化等我々茨城支部を取り巻く新しい時代に対応して、更なる社会貢献活動の輪を広げていきましょうとのご挨拶を頂いた。
 - 支部活動報告：谷口副支部長より、支部及び理科クラブの活動状況・H27 年度のトピックス・会計報告・H28 年度支部組織の新体制・今後の検討課題等について報告があった。
 - 同好会活動報告：河島同好会幹事長より、活動状況・会計報告・H28 年度新体制等について各グループの活発な活動の写真を使って報告があった。
 - 監査報告：長島監事より、支部及び同好会の決算報告について適正である旨の報告があった。
 - 会社概況説明：電力ビジネスユニット 村山日立事業所長より会社概況のご説明を頂いた。
 - 白寿・米寿・喜寿到達者及び新役員の紹介：根本正様が白寿を迎えられたこと、当日出席の米寿・喜寿の方々及び支部新役員の紹介があった。



久野支部長ご挨拶

- 同好会活動状況の展示品の観賞：懇親会会場設営の時間を利用して、各同好会の活動状況の掲示と作品を展示して、皆さんに見て頂いた。
- 懇親会：谷口副支部長の司会のもと、野澤守氏のご発声で乾杯の後、懇親会が開始された。一年ぶりの再会と健康を喜び合い、会員相互に近況、情報交換など、和気藹々とした雰囲気の中で楽しい 2 時間を過ごすことができた。最後に佐藤新副支部長のご発声で、「万歳三唱」を行って閉会、再会を約して散会した。



野澤氏のご発声により乾杯



佐藤新副支部長のご発声で万歳三唱

茨城支部からのお知らせ

- * 第 65 期第 3 回 日立社友クラブ理事会報告**
 - 本部会員合計は 6,536 名（前報告+9 名）となった。
 - 日立理科クラブへの協力など、日立社友クラブ会員による更なる社会貢献活動を検討していくとの報告があった。
- * 平成 28 年 6 月 茨城支部役員会報告**
 - 茨城支部会員数は 5 月 27 日現在 1,059 名で、昨年の総会時点より 27 名減である。今後 OB 会等で入会勧誘を呼び掛けて頂くことになった。
 - 支部総会でコピーを見て頂いた茨ネット会員の欠席者の近況報告が好評だったので、出欠確認の葉書による近況報告についても、茨ネットで皆さんに配信することになった。

私のオペラ合唱活動 《オペラ合唱に魅せられて》

松本 宏



私の故郷には伊勢神宮がある。二十年に一度の「式年遷宮」では社殿造営の御用材を運搬する「御木曳

（おきひき）」は中心的な行事の一つで、木曾の御用林で切り出し宮川を筏で遡った檜の大木を「御木曳車」に乗せ替え、外宮までの約二キロの道を伊勢の領民が榮譽と喜びを持って奉曳（ほうえい）する勤勞奉仕である。

木遣り歌と踊り、掛け声で賑々しく曳かれてきた行列は神宮の手前で一呼吸を入れる。

木遣子が采（さい）を掲げて朗々と唄いだし、車を曳く群集が呼応する。

〱御木（おき）は木曾山 ヤンエー

〱ヤットコセー ヨーイヤナー

ヨイトナー

〱ソリヤ ヨイトコセー

〱曳け ソリヤ 綱の衆

〱エンヤー エンヤー・・・

御木曳きの最終章「エンヤ曳き」の始まりである。車は土煙を上げ、ゴウゴウと「わん鳴り」の音を響かせて猛スピードで神宮に曳き込まれる。まさにオペラの圧巻のフィナーレそのものである。

私が始めてオペラを見たのは高校生の時、第二次NHKイタリア歌劇団公演（一九五九年）をテレビで見たときであった。当時、自宅にはテレビ受像機は無く、中学校の恩師のお宅に浸り込んで夜遅くまで見入った



《カヴァレリア・ルスティカーナ》
の一場面
～右から3人目が筆者～

ものであった。マリオ・デル・モナコやジュリエッタ・シミアナートなどの名歌手が歌うアリアに心揺すぶられ、ストーリーを盛り上げる合唱に魅了されたことをつい最近のことのように思い出す。

何時の日かこんな風に歌いたいと思ったことだった。

大学時代は男声合唱団で、日立に來てからは工場の合唱団で合唱を楽しんでは來たが、残念ながらオペラの曲を歌うことには恵まれなかった。それが一変したのは日立シビックセンターが企画した「ニューイヤークンサート」の合唱団員募集に応じた時からである。

日立市は「オペラによるまちづくり」をまち興しとして推進し、市制六〇周年の記念事業として新作歌劇《水の声》を二〇〇〇年一月に上演することを企画していた。「ニューイヤークンサート」はその準備事業として、プロのオペラ歌手と市民参加の合唱団で構成するコンサートを毎春開催するものであった。指揮者、演出家もオペラの専門家であり、今まで経験したことのない感動と興奮

を味わうことができた。歌っている人物になれ、演技をし、指揮者を見て歌う（視界の片隅にみる）・・・何というオペラ合唱の魅力、歌っているときの楽しさ、歌い終わった後の感動！



《愛の妙薬》の一場面

この合唱団は毎年募集し、公演が終われば解散するという。これは勿体ない。何とか継続し、合唱団としての技術・力量を高めたい。そう思った私は同じ考えを持っていた椎名氏（故人）、仲野さんと「ひたちオペラ合唱団」を結成することにした。一九九七年四月のことである。この合唱団は日立シビックセンターに所属する形で運営し、《水の声》に出演することを活動目標とした。《水の声》の終了とともに、二〇〇一年四月自主団体としてシビックセンターから独立し、新生「ひたちオペラ合唱団」として、山館冬樹氏（現、昭和音楽大学短期大学部教授）を常任指揮者に迎えて、シビックセンターの主催する毎春の「ニューイヤークンサート」

や、「オペラサロン」、《マクベス》など四回の「野外オペラ」の合唱団の主力メンバーとして活躍するとともに、「オペラ・ノストラ」（私たちのオペラ）という自主企画・主催のオペラ公演を行ない、現在に至っている。アマチュア合唱団が自分たちで企画・主催・制作し、出演もし、多額の資金も調達するという全国的にも珍しいオペラ公演は、第一回「オペラ・ノストラ」を二〇〇三年七月に総監督・指揮・山館冬樹、演出・大島尚志、オーケストラ・日立交響楽団でマスカリーニ作曲《カヴァレリア・ルスティカーナ》を上演した。この公演は音楽専門雑誌でも取り上げられ、シビックセンター音楽ホールを埋めた満員のお客様からは割れるような拍手を頂いた。

この体験と感激は私のオペラ合唱を継続する大きな力になって現在も続いている。

第二回「オペラ・ノストラ」は二〇〇六年にドニゼッティ作曲《愛の妙薬》を、第三回は二〇〇一年にレオンカヴァッロ作曲《道化師》を、第四回は二〇一三年にビゼー作曲《カルメン》（演奏会形式）を上演してきた。第二回と第四回は実行委員長として公演を成功させ得たことは掛替えのない経験である。

第五回は二〇一七年八月にヨハン・シュトラウス作曲《こうもり》（日本語公演）を実行委員長として準備中であり、皆さんのご期待に沿えるような楽しいオペレッタを上演したいと思っている。

松本 宏氏 連絡先
〒316-0032 日立市西成沢町4-37-10
Tel: 0294-37-5219

リレー随筆 (56)

設計者人生の軌跡

大橋 基宏

私の手元に、一冊の大切なアルバムがある。会社の『創業七十五周年記念』の、あの布張り装丁の写真帳である。

この中に、凡そ 80 枚の製品写真を納めてある。「晩酌の友」として、時折り開いて眺めているが、妻が「懐古趣味が募るのは、脳の老化が進んでいる証拠じゃないの?」と、顔を逆撫でするような茶々を入れてくる。私は過去に閉じ籠る気は更々無いが、この写真を眺めていると、それに関わった社内の諸氏や、時には顧客様の懐かしい御顔も浮かんで来る。今、盃を手に、平穏な時を過ごせるのも、あの時に頂戴した皆様のお力添えとご尽力のお蔭と、改めて心の内で感謝し、盃を捧げて、お礼を呟いている。

1960 年入社の際は、亀有工場「ポンプ鋤山機械設計部」の部長直属「変速機係」で、設計者人生のスタートを切った。やはり、入社して最初に取り組んだ仕事の思い出が、心に深く残っている。私の初仕事は、国産初の二千馬力級ディーゼル機関車に搭載する『流体変速機』の開発であった。これを申し渡された時、正直驚いた。何と、半年前に卒論で発表したばかりの理論式の実用性を、自ら試す場に立たされたからである。

將に“想定外”であった。幸い開発の仕上がりは上々で、DW2A 型流体変速機として正式化され、その後の 20

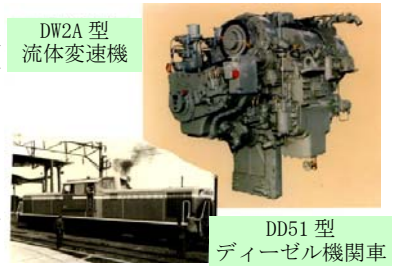


年に亘って生産を継続して、二千台超の納入実績を遺すことができた。その一方で、経済の高度成長の波に揉まれるままに、仕事の環境変化は目まぐるしく、組織の変更や工場移転、更には他部門からの製品や設計者の異動受け入れなどが相次いだ。1986 年 2 月、突如(佐)への転勤を申し渡され、私の設計者人生は幕を降ろした。

配属された当時、主任以下 6 名の「変速機係」は、「変速機」、「(防)車輛」、「試験機」そして「開発」の四つの設計グループから成る「精機システム設計部」へと変貌していた。前述の“80 枚の写真”は、4 人のグループ長が、私と因縁の深かった製品の写真を選び、送別会の席上、餞別として贈ってくれたものである。

あれから 30 年、会社の組織は一変。四つの設計グループも、分社して独立したり、別々の社内カンパニーに分散したと伺った。しかし、皆揃って健在の由、嬉しい限りである。

(有)に蒔かれた一粒の種は、四つの大枝に分岐成長し、(有)変速機係創設の精神と技術は、脈々と継承され、進化している現実は、真に心強い。写真を眺めつつ、エールを送っている。『変速機係の子孫達よ! 永遠なれ!!』



流体変速機とそれを搭載のディーゼル機関車

同好会行事に参加して



「デジカメクラブ」

松崎 四郎

60 歳になった時に茨城支部の同好会に入会している元同じ職場にいた先輩に入会を勧められましたが、引き続き勤務していたので入会出来ませんでした。

平成 24 年 3 月に 68 歳で(日)を退職したので、4 月に入会手続きをしました。

デジカメクラブに参加したのは 6 月からで、6 月の撮影会は『鎌倉散策の旅』でした。デジカメはコンパクトカメラは使用していましたが、一眼レフを初めて購入し参加しました。当日は梅雨の期間中で朝から雨に降られ、寺周りで雨に濡れ、初めて使用したカメラの取説などがビショビショになった記憶があります。

入会して間もなく当時の代表世話人から世話人をするように言われ、現在もやっています。

諸先輩から撮影技術や加工技術などを教わりながら写真撮影を楽しんでいます。

「卓球クラブ」

今卓球ができる喜び

菊地 武丈

卓球同好会日立友光会の存在を知ったのは 2 年前に送られてきた「社友クラブ茨城支部便り」でした。シニアでも卓球同好会があると知り嬉しさを感じた。更に小学生～大学生まで現役の卓球部員や同じ世代の同好会の人と卓球大会で試合ができるなんて夢の様な話で、大変な驚きだった。元卓球部員としてはこんな活動をしたいとず

っと思っていたが、それが現実となり嬉しさが込み上げてきてすぐに飛び込んで仲間に入れて頂いた。月 3 回の練習日は今や待ち遠しく、若い人達とも我を忘れて競い合う試合ができるなんて考えもしなかったが、こんな楽しい事はない。ある試合主催者が「今、好きな卓球ができることに喜びを感じ、それを支えてくれる家族や指導者、仲間、試合の相手に感謝し楽しく過ごして貰いたい」と仰っていたが、今、正にそういう心境である。卓球ができることに喜びを感じながら日々精進していきたい。感謝、感謝です。



「勝田 PC」

窪添 守起

本講座に加入したのは随分昔のことであり、その経緯も時期も今となっては定かでない。その頃は USB メモリのような便利な記録媒体はなかったもので、1 年経過するごとに、講義の内容を CD に記録して配布してくれたものである。手持ちの一番古い CD には「1 周年記念 2003.9.30」とあるから、かれこれ 14 年前から通っていることになる。

初めの頃は PC の操作もおぼつかなかったので、家でもそれなりに勉強したが、一通りの操作が出来るようになるにつれ怠けてしまう。それに講義の内容を USB に記録して持ち帰れるようになったので、必要なら何時でも見られると云う気安さから、最近では家で一遍も講義の内容を開けたことがない。それでは何故講座に参加するのかと云うと、先ず PC の最新情報を教えてもらえること、何でも質問できること、そして講師と生徒が一体となって講座が盛り上がることである。

同好会の行事ご案内（8月～10月）

1. 第66回歩こう会 【水戸市那珂川流域を歩く】

水戸市青柳町、那珂川の川沿いを歩きます。初秋の爽やかな川風を受けて、霧囲気を肌で感じられるコースです。皆さんとともにウォーキングを楽しみましょう。

- ・開催日：平成28年9月15日(木)
雨天9月29日(木)
- ・集合：パーラーさくらんぼ水戸店駐車場 10:00
(国道118号水戸市中河内924、千歳橋付近)
- ・コース：駐車場出発→千歳橋→右岸→万代橋→
左岸→水戸市民運動場(昼食)→駐車場
13:30着(解散) 総距離約6.5km：平坦地
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：平成28年9月8日(木)
- ・申込先：小野瀬 秀夫
Tel/Fax：029-282-4124
E-mail：h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

2. 第69回研修会

【つくば研究学園都市の研究施設見学】

4年ぶりに「つくば研究学園都市」を訪問します。今回はこれまで見学していない土木研究所と国立公文書館つくば分室、リニューアルされたつくば宇宙センター、ロボットスーツで有名なサイバーダイナミクススタジオを見学します。皆様の参加をお待ちしております。

- ・開催日：平成28年9月30日(金)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 7:00
日立電鉄交通サービス南営業所 7:15
- ・帰着：大甕駅前 17:45頃の予定
- ・会費：5,500円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：7月31日
- ・申込先：石田 和夫
Tel/Fax：0294-34-0209
E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

3. 定例行事予定一覧（開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。）

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		8月	9月	10月				
野鳥自然観察グループ	城戸勝弘 0294-39-2119 kkido@kxd.biglobe.ne.jp	—			休会		参加費:¥300/回 原則雨天中止	
			26(月)		粟原	9:00～		
				31(月)	赤羽緑地	9:00～		
囲碁の会	日立地区 助川一弥 080-3443-3577 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	24(水)	14(水) 大会	12(水)	大みか拠点	10:00～ (大会 9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥500	
		31(水)	28(水)	26(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	18(木)	15(木)	20(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	8(月)	12(月)	17(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1700/回	
		—	26(月)	24(月)				
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	3、 31(水)	7、14 21(水)	5、19 26(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥4500/年	
デジカメクラブ	若島喜和 0294-24-2425 wakasima@net1.jway.ne.jp	1(月)	5(月)	3(月)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む	
写真五七五	武田孝一 0294-36-1469 takedaks@future.ocn.ne.jp	5(金)	2(金)	14(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	2(火)	6(火)	4(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥200/回 昼食別途
	基礎講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	9(火)	13(火)	11(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	23(火)	27(火)	25(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	Lightroom講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	19(金)	16(金)	21(金)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	HTML講座II		25(木)	29(木)	27(木)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む

注) 旅行会(連絡先; 安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

訃報 衷心よりご冥福をお祈り致します。

栗山 均	平成28年	4月12日	享年69歳
益子 厚美	平成28年	4月13日	享年94歳
松井 千里	平成28年	4月19日	享年98歳
瀧寺 正武	平成28年	4月20日	享年86歳
村田 壽典	平成28年	5月5日	享年88歳
綿森 溥	平成28年	5月23日	享年71歳
川上 直衛	平成28年	5月30日	享年83歳
石坂 文男	平成28年	5月31日	享年75歳
吉田 正吉	平成28年	6月16日	享年99歳

編集後記 去る5月に茨城支部総会が盛大に行われました。ご参加ありがとうございました。

さて大橋さんの随筆から、製品と組織の存続が開発の成否に掛かっていたことを再認識させます。松本さんの会員投稿では、自己完結型オペラ公演「オペラ・ノストラ」の成功に敬意を表すとともに、式年遷宮の御木曳にオペラのフィナーレを重ね合わせる感性には脱帽です。

今年も日立製作所は東京ドーム出場です。応援に行きましょう。
長島 重和